

X階教室甲 (回覧2下でい)

(今野) → (庄河) → (反町) → (庄河) → (内山) → (青柳) → (黒根) →
→ (上良) → (大泉) → (田崎) → (内山) → (澤崎) → (川村) → (田崎) 戻り

第28回

外国人の皆さんの 日本語意見発表会

テーマ：

「環境・家庭・平和・教育等」

平成30年11月11日(日)

午後 1:00~4:00

日立シビックセンター

2F 多用途ホール



国際交流ボランティアネットワークさくら

プ ロ グ ラ ム



<式次第>

- 13:00 主催者の挨拶および来賓紹介
さくら代表世話人 臼井 多賀子
日本語意見発表会実行委員長 池田 昭二
- 13:05 外国人の皆さんの意見発表
テーマ:「環境・家庭・平和・教育等」
- 14:20 投票・休憩
- 14:30 アトラクション
茨城県華人舞踊団の皆さんによる歌と踊り
- 15:00 投票の結果発表と表彰式
- 15:10 発表者の皆さんとの交流および意見交換
＜各テーブルにて＞
- 16:00 終了

主 催 国際交流ボランティアネットワーク さくら
「さくら」は、市民の国際交流ボランティアネットワークとして1990年11月より「身近なところで出来ることから始めよう」をモットーに活動しています。

[Think Globally, Act Locally]

～ 地球規模で考え、地域に根ざして行動する ～

共 催 第16回ひたち国際文化まつり 2018 実行委員会

協 賛 日立商工会議所、(株)日立ライフ、東京ガス(株)日立支店、
日立ロータリークラブ、日立北ロータリークラブ、
日立港ロータリークラブ

後 援 日立国際交流協議会

第28回 発表者の皆さん及び3賞の入賞者

No.	氏 名	性別	出身地	職 名・所 属	滞在期間	題 名
1	リン タンタン 林 丹丹 ひたち国際文化まつり実 行委員会賞	F	中国	会社員	1年	郷に入れば郷に従え？
2	グエン フォン ヒエン	F	ベトナム	茨城キリスト教大学	5ヶ月	日本人の元気を出す言葉
3	キ ショウ 姫 祥	M	中国	茨城大学工学部 大学院	1年	サッカーの魅力
4	チョイ ソウ クイン	F	マレーシア	パート	22年	成長させてくれた日本
5	チウオン ティ カイン リー	F	ベトナム	茨城キリスト教大学	5ヶ月	文化交流
6	バダミアン アミル	M	イラン	茨城大学工学部	2年	日本とイランの新年の慣習 の相違点と類似点
7	シン ゼン 秦 冉	F	中国	茨城大学工学部	1年 3ヶ月	中日家庭教育の比較
8	ウシケムピロア ナズグーリ さくら賞	F	カザフスタン	茨城キリスト教大学	5ヶ月	嘘はいけないことでしょうか
9	ゴー ティ ミー アン	F	ベトナム	茨城キリスト教大学	5ヶ月	一番大切なもの
10	パン ジュンホウ 日立商工会議所会頭賞	M	マレーシア	会社員	3年	日本に来て驚いたこと
11	ハク セイ 白 静	F	中国	茨城大学工学部 大学院	2年	日本に留学して得たこと

国際交流ボランティアネットワークさくら

代表世話人：臼井 多賀子

実行委員長：池田 昭二

総合司会：西山 光江

発表者の皆さん

第16回ひたち国際文化まつり
第28回外国人の皆さんの日本語意見発表会



池田 昭二(実行委員長)

林 丹丹(リン タンタン)さん(中国)

グエン フォン ヒエン さん(ベトナム)

姫 祥(キ ショウ)さん(中国)

チヨイ ソウ クイン さん(マレーシア)

チュオン ティ カイン リー さん(ベトナム)

バダミアン アミル さん(イラン)

秦 冉(シン ゼン)さん(中国)

ウシケムピロア ナズグーリ さん(カザフスタン)

ゴー ティ ミー アン さん(ベトナム)

パン ジュンホウ さん(マレーシア)

白 静(ハク セイ)さん(中国)

臼井 多賀子 (さくら代表世話人)

西山 光江 (総合同会)

皆さんこんにちは。私は林 丹丹です。「タンタン」、何だか上野動物園の「ランラン」のような名前ですが、「誠」という意味です。中国では同じ漢字を2つ重ねることがよくあります。中国遼寧省の大連から来ました。日露戦争でお馴染みの「旅順」は大連の一部です。私は、今日のスピーチのトップバッターですので、正直言って、膝がガタガタ震えています。冗談はさておき、本題に入ります。

「郷に入れば、郷に従え」という諺をよく耳にします。「新しい環境で生活をするためには、そこのやり方に従いなさい」ということですよね？これは頭では理解できても、体にしみこまない限り、ダメですよね？

私は日本に来て1年以上になりますが、日本に来たばかりのころは、習慣の違いがわからず、いろんな失敗をしました。

例えば、街に出かけ、買い物ができなかったことがあります。ショッピングは女性の楽しみですが、財布を持たないで買い物に出かけました。日本の皆さんは、私のことを「アホかいな」と笑われると思います。しかし、財布を持たずに買い物をするのは中国では普通なのです。中国では、最近、あまり現金を使いません。その代わりに、スマホでQRコードをスキャンするだけで、どこでも買い物ができます。そのため、出かけるときは財布を確認することより、スマホのバッテリーが足りるかどうかの確認が大切です。ところが、前回、私が中国に帰国した際、私は財布にお金をいっぱい入れて買い物に出かけました。いつの間にか、日本人になっている私を見て苦笑してしまいました。

中国で「民は食をもって天と成す」という諺があります。人は食に頼って生きるから、食を最も大切な物とします。私は一年以上日本にいますが、今でも日本の食べ物に慣れません。

日本で、初めて入った中華料理店で味が自分たちが中国で食べているものと全く違い、がっかりしました。しかし、そのうち、「あ〜、これは日本人が好むように味付けしているのだ」とわかりました。すなわち、食べ物ですら、「郷に入れば、郷にしたがえ」だと。皆さん、もし中国に行くチャンスがあれば、是非、料理屋で、かに玉を注文してみてください。日本の中華料理店で人気の料理ですが大連では存在しません。中国には芙蓉蟹（フーヨーハイ）という料理があります。これは蟹の身と野菜を乗せた卵焼きで、かに玉の元祖です。これも日本に来たら「郷に入れば、郷に従え」と改良されたのでしょうか。日本人は頭がいいですね！

話は変わりますが、最近、日本の大型のコンビニやショッピングモールなどでは、外国人のために、スマホなどでの支払いができるようになりました。

「郷に入れば、郷に従え」というだけでなく、日本も、外国人の旅行者の習慣を考慮したシステムを立ちあげ、外国の人達に楽しんでもらえるようになってきました。お互いのことを思いやることはこれからの世界では益々重要になってくると思います。

私は、これからの世の中では、「郷に入れば、郷に従え」だけでなく、「郷の人は外からの人を理解する」ことも大切ということを経験しました。この貴重な体験を生かし、将来、日本と中国の架け橋になりたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

私は日本に来る前、ホーチミンにある日本のレストランでアルバイトをしていました。初め、私は日本語をあまり喋れませんでしたがお喋りで人と話すことが好きなので、いつも笑顔で私に親切にしてくれた同僚達のおかげで、日本人、日本語、日本文化が少しずつ分かるようになり、素晴らしい経験をしました。でも、その中で1つ気になったことがありました。それは、いつも何かをやる前に、たとえば、重いものを持ち上げる時、宿題をやる前など、皆はいつも「よし」と言っていたことです。その時は、聞いても別に疑問には思わず、私のまわりにいる日本人だけのくせだと考えていました。

しかし、日本に来てみて、今のアルバイト先や学校の友達もそんな風に言っているのを聞いて、「えっ、みんな言っている」と思いました。さらに「よし」という言葉だけではなく、「よっしゃ」という言葉も言っていました。この2つをよく聞いてみると、言うタイミングが違います。「よし」は何かやる前、「よっしゃ」は何か終わったときに言います。どうして何かをやる前に「よし」という言葉を、何かうまくできたら「よっしゃ」という言葉を言うのでしょうか？日本人の皆さんはこのようなことを考えたことはないと思います。だけど、外国人の私は、これも日本文化の1つかも、詳しく調べてみたいと思いました。

アルバイト先の同僚や学校の先生、友達に聞いてみました。ほとんどの人は「何かを始めるきっかけ」「集中できるように」「やり抜きたいから」などの理由で「よし」と言いますと答えてくれました。また、何かやっとうまくできたら、「あー、良かった」、「もう終わった」、「よく頑張った、よくできた」という気持ちで「よっしゃ」と言うという答えでした。

やっぱり、日本人はいつも自分のやっていることを大事にしていって、最後まで頑張りたいというのは素晴らしいと思います。

私にとって、「よし」と「よっしゃ」という言葉は可愛くて面白い言葉です。なぜかというと、その言葉を言う時、その人の口元が子供のように可愛く見えるからです。また「よし」、「よっしゃ」は簡単ですけど、元気とエネルギーが表せます。「よし」と、気合いで「やるぞ」という風に周りの人にも聞こえたら、自分だけでなく、周りの人も元気が出せると思います。それはいいことじゃないですか？「皆と一緒に最後までやりましょう」というような気がしませんか？それは面白くて凄くいいことと思います。また、「よっしゃ」という言葉を聞いたら、達成感と自分に「お疲れ様です」と言っている気がします。

たとえば、英語の「オーケー」などもあります。しかし、「よし」と「よっしゃ」という言葉は、日本人の性格、日本人の気持ちがすごく表されていると思います。それは気合い、元気、真面目、我慢強い性質などです。日本の特別な文化の一つだと思います。私は「よし」と「よっしゃ」が大好きです！自分だけでなく、聞いた人もやる気が出てくる凄い言葉、を持つ日本文化は素晴らしいと思います。

こんにちは！ 私は中国からの留学生です。

皆さん！ 今年は何があった年かご存知でしょうか。サッカーファンとしてはワールドカップです。私とサッカーの縁といえば、偶然ですがこれも私と日本のご縁です。そうです、それは2002年のワールドカップです。当時私は8歳でした。横浜で開催されたブラジル対ドイツの決勝戦を私はテレビの前で観戦しました。あれからもういつの間にか16年経ちました。今年のワールドカップの開催地はロシアでした。変わらないのは私はまだテレビの前にいます。

皆さん一番好きなサッカー選手はだれですか？ 私はドイツ代表のロイスです。カッコいいですから。もちろん日本の香川真司もカッコいいですよ。でも、失望したのはロイスのドイツ代表がグループステージで早々と負けてしまったことです。そして大好きなオランダ代表はワールドカップにさえも来ていません。

では今回のワールドカップには何が期待できますか？ その時そう思いました。ですから、もう普通の試合を見るように思っていました。しかし“意外な収穫”がありました。まずはグループリーグの日本対ポーランドの試合で、最後の10分間、1対0のスコアを守るため、両チーム、特に日本は消極的な試合を始めました。観客からのブーイング、嘲笑、罵倒など、テレビの前に座って観戦している私にもはっきり聞こえました。幸運なことに、日本代表は決勝トーナメント進出を果たしました。しかし決勝トーナメント第1戦で、日本は世界ランキング3位のベルギーと対戦し、2対3で逆転負けしてしまいました。

グループリーグの対ポーランド戦でなぜ嘲笑、罵倒を受けながら西野監督は消極的な試合を選びますか？ 一方、決勝トーナメントで強力なベルギーとの試合で、後半の2対2の同点の時になぜディフェンスを重視して延長戦に引き込むのではなく、さらに攻撃し続けて結局2対3で負けてしまいました。でも、多分これこそ一番合理的な選択だったと私は思います。なぜ消極的な試合を選んだのかは、リーグ戦での結果により日本代表は決勝トーナメントに進出することが保証されるからです。つまり西野監督としては一番大切なのは自分のチームが生きていくことです。そして、決勝トーナメントで同点の時に何故まだベルギーに攻撃し続けたのかは日本代表の実力から見ると、もう1点とって、早く試合が終わるほど生き残っていく可能性が大きかったからです。

消極的な試合では進出、全力をつくす試合では失敗、これこそサッカーの、そして私たちの人生の魅力的なことじゃないでしょうか？ 消極的な表現は本当の放棄じゃなく、全力を尽くすのは最後の成功を取れないかも知れません。一番大切なのはなぜ自分はこのような選択をするのか、そしてその結果を受け入れられるのかということを確認します。

中国ではこういう一言があります。「たとえ1%の希望しかなくても、100%の努力をする」。しかし私は認められません。もちろん中国ではこういう一言もあります。この一言を英語で表すと『Stay Hungry Stay Foolish』。

以上で発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

はじめまして、私はチョイ ソウ クインです。1996 年にマレーシアからきました。日本に来る前には主人と一緒によく日本のドラマを見ながら日本での生活を夢見ていました。でも、実際にはぜんぜん違っていると感じました。

子供達が小学校に入学したら、毎日いそがしい日々がつづきました。ママ友も沢山できました。日本になじもうと、ママ友から生活習慣や文化をおしえてもらいました。

私が日本に来て、一番の問題はゴミでした。水色の袋に何を入れるのか、みどりの袋には何をいれるのか、ビンやかんは、どうしたらいいのか、いつ、どこに袋を持って行くのかまったくわかりませんでした。はじめてマレーシアから母が来た時、私が朝起きたらゴミの袋がなくなっていました。散歩から帰って来た母に、

「ゴミ袋しらない？」 「この前すてた場所に持っていったよ」

「ああ、まいったなあ。ゴミの日じゃないのに・・・」私は、あわててゴミの袋を取りに行きました。また、姉達が遊びに来た時にも、ゴミの分別を教えましたが、なかなかおぼえられなくて困りました。最後には姉がおこりだして、

「このゴミ、私マレーシアに持ってかえる」と、言いました。

深く心に残った事は、東日本大震災でした。この日、地震後、学校に行った息子を迎えに行きました。グラウンドで子供達が不安な顔をして、静かに親の迎えを待っていました。夜になって、余震もだいぶおちついたころ、主人が「お水を買に行かなければならない」と、言いました。まっくらい中、遠くのお店の、うすあかりが見えていましたが、そこまで歩いて四十分ぐらいかかりました。お店についた時、主人のホットした顔を今でもハッキリおぼえています。はじめて家族 4 人で、力をあわせて重い水と食べ物を持ってかえりました。その時、家族の大切さと水の重要性を学びました。次の日、近くに住んでいるママ友が来てくれました。うちのオール電化の不便な事をしっていたので、ガスコンロとおゆのポットを、持って来てくれました。いつ電気がふつきゅうするのか、まだわからないし、寒い時だったので子供達とあたたかいおゆをのんで、身体を暖めていました。ママ友が「お互いにがんばろうネ」と励ますことばをくれました。その時、自然と涙がボロボロでて、困っているのは私一人じゃないと感じました。ママ友がありがたく、嬉しくてとっても感謝しました。今でも交流がつづいています。

日本の生活の中では失敗した事も多々ありましたが、私を成長させてくれました。もちろん成功した事も沢山ありました。時を経て、日本の生活になれました。今では日本が大好きです。これからは大好きな日本のために自分にできる事をし、色々な事を教えてくれた、まわりの人達に恩がえしをしようと思い、ボランティアをはじめました。いつの日か、マレーシアと日本のかけはしに、なれたらいいと、ねがって、努力していきたいと思います。

これで私の発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

皆さんこんにちは！私は、カイン・リーと申します。今日は異文化交流の大切さについて話したいと思います。

日常生活で皆さんが手を使うジェスチャー、国によって様々な意味があることをご存知ですか。例えばベトナムでこういうジェスチャーを使ったら、日本と同じでOKかグッドという意味ですが、トルコでは馬鹿という意味になります。アラブでは軽蔑という意味になり、このジェスチャーを使ってはいけないそうです。また、うなずいたら、日本では賛成という意味になりますよね。これはどこの国も同じだと思いましたが、ブルガリアでは否定をする時に使うそうです。これはほんの一例で、世界にはそれぞれの国の文化や常識があり、これは当然だと思っても、ほかの国にとってはそうでないことが多くあります。

ジェスチャー以外にも日常生活では違う点が結構多いです。ある時、ベトナム人の恋人がいる日本人の友達から、このような話を聞きました。「僕はごはんをおごってあげたり、何をやってあげても、彼女は僕に、有難うと言ってくれないよ」と。

私は、笑いながら「それはベトナム人があまり有難うと言わない習慣だから、恥ずかしいというか、他人行儀だからですよ！」と答えました。でも恋人なら、おごるのは当然じゃない？と逆に質問しました。ベトナムでは、恋人と付き合うとき、過半数は男性に払ってもらいます。だけどその時、日本では割り勘だ、と分かった時、ショックを受けました。さらに、パレンタインデーでもベトナムでは女性が男性からチョコレートをもらいますが、日本では逆だそうですね。

見かけについてはどうでしょうか。アジア系の国では白い肌になれる美容品がよく売れるそうですが、アメリカでは日焼けの肌のほうが元気にみえるから、人気があるそうです。そして、毎日一生懸命ダイエットしているアジア系の女性に対して、Mauritania (モーリタニア) というアフリカの国では体が大きくて、肩が広い女性は肉体美の理想だそうです。

私は以前、異文化を理解することは簡単だ、ただ考え方がちょっと違うだけだと思っていました。でも、実際に接してみると、意外に困ることが多いです！コカコーラという大手会社でも異文化で困ったことがあったそうです。広告のポスターには三つの絵が描かれていて、まず、疲れている男性が砂漠に横になっている絵、次に、コカコーラを飲んでいる絵、最後に、元気になって、走っている絵でした。このポスターはアラブでは失敗でした。理由は？アラブ人は文字や絵を右から読むので、元気そうな男性がコーラを飲んだせいにくたびれてしまった、とってしまったそうです。

以上の例だけでも世界は広いな、わからないことがいっぱいあるなと思いませんか。お互いに分かり合えないと誤解が起き、さらに偏見を持ってしまったら大変です。是非、なるべくたくさんの人、たくさんの外国の文化に接してみてください。

今、日本に来て、周りには中国、韓国、キルギス、アメリカなどさまざまな国籍の留学生がいて、様々な文化に触れることができ、異文化をしっかりと感じています。面白いことも多いけれど、これから勘違いもきっと起こると思います。そして、受け入れられないこともあると思いますが、その時は、無理に受け入れなくてもいいと思います。そして、もし、受け入れられなくても、大事なことは、それを否定するのではなく、尊重することだと思います。異文化は以外に面白いと思います。皆さんも是非、たくさんの異文化交流を試みてください！

これから日本とイランの新年の過ごし方に8つの点から紹介します。今日はイランと日本の新年の類似点と相違点についてお話したいと思います

まず、一番目は、新年の期間と定義についてです。日本とイランの新年の日付は異なります。日本の新年は、1月1日から始まりです。イランの新年は、太陽の周りの地球の回転に基づいており、太陽暦と呼ばれていますが、3月21日から始まります。3月21日、太陽の周りの地球の回転が完了し、地球は太陽の周りに回転の新しい周期に入ります。日本では、この日は春分の日として祝われています。年の最初の日は日本語で「お正月（おしょうがつ）」と呼ばれ、その日お互いに「明けましておめでとうございます」とあいさつします。

イランの今年の最初の日は「Nowruz」と呼ばれ、人々はお互いに「nou-ruz mobarak」と言っています。Nou-rouzという言葉の、「nou」という言葉は「新しい」という意味であり、「ruz」は日を意味します。Nowruzの起源は2500年前に起因します。日本の正月は1月1日から1月3日ですが、ほとんどの人は約1週間休みます。イランの新年の休日は正式には約1週間ですが、ほとんどの人は2週間以上休暇を取ります。

次に習慣を比較してみます。日本の新年の習慣の一つ目は、年賀状を送る習慣です。二つ目は、その前の年の暮れの忘年会です。三つめは、門松の習慣です。四つ目は、初日の出のお参りです。多くの人が1月1日の朝に日の出を拝みます（おがみます）。五つ目は元旦にお寺と神社にお参りにいく初参りです。また、正月の休みを利用して旅行に行く人たちもいます。次にイランの新年の習慣を紹介すると、第一に家を完全に掃除します。第二に死んだ親戚の墓にお参りに行きます三番目は家庭内の親戚や友人を訪問します。最後が旅行や自然を楽しむに行きます。

次に新年の両国の食べ物の比較をしてみましょう。新年には日本では餅つきをして、お雑煮、年越しそば、お節（せち）料理を食べます。一方、イランでは、新年にお菓子(Okashi)、ナッツ、(natsu)、果物(kudamono)などを食べます日本とイランの子どもに関する新年慣習は多少似ています。子供たちは新年はとても幸せであり、彼らは家族のパーティーでお年玉をもらえます。これは親や親せきからもらう現金の小遣いのことです。

最後にイランの新年の料理の Haft-Sin をご紹介します。「Haft-Sin」テーブルの設定
(“Haft” in Persian means: 7) ハフト・スィーンは7個を持っている:

頭文字がスィーン Sin で始まる7つのものを集めて祝われる。代表的なものとしてはである:

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1. リンゴ (sib、سیب) | 2. にんにく (sir、سیر) |
| 3. 酢 (serke、سرکه) | 4. ヤナギバグミ (Senjed、سنجد) |
| 5. スーマック (Somāq、سماق)、 | 6. 青草 (sabzeh、سبزه) |
| 7. 甘いプディングのサマヌー (Samanū、سمنو)。 | |

これで私の発表を終わります。 ご清聴ありがとうございました。

皆さん、こんにちは、中国のシンゼンです。現在、茨城大学工学部の研究生として、約1年になります。

最近、中国にいる友達から日本で教育を勉強したいが、どこの大学がいいかと聞かれました。正直私も、どの大学がいいかわからなかったのですが、日本に留学した私は、中国と日本の教育について気になったことがいくつかありました。

皆さんご存知のように、教育は、その国が成り立つ基本となるものです。国民の教育を受ける程度によって、国家の未来が決まると思います。だから、国の未来の発展にとって、教育は最も大切なことです。日本と中国は隣国で、歴史にも多くのつながりがあり、教育にもたくさんの類似点があります。両国は世界でも屈指の経済大国となっていますが、その中では教育が大きな役割を果たしていると思います。それから、私たち中国などの途上国から見ると、勉強になることもたくさんあります。ここで、2つの視点から中国と日本の教育の違いを考えてみたいと思います。

まず、家庭の教育について、日本の家庭では、子供の自立精神を小さいころから育てています。子供は家事、例えば料理や自分の部屋の片付けなどを手伝っています。それで、日本の子供が問題を解決する能力、新しい環境に慣れる能力が比較的しっかりしています。しかし、現在の中国では、祖父母4人、両親2人に対して子供1人なので、大事にされ過ぎ溺愛され、子供が独立して生活をする能力や、新しい環境に慣れる能力が低下しています。例えば私の周りにも、大学生になっても、靴下を洗う事さえできない人がいます。こんなことに対しては、日本の教育方法が、より子供のためにも良いと思います。

一方、学校における教育については、日本人の友達から聞いた話によると、日本の小学校では料理の授業もあると言います。本当にびっくりしました。逆に、中国では学歴がとても重要になっています。先生や親たちは何があっても試験、試験、点数、点数のためだけに努力して、学校の勉強以外の知識が無視されています。体育授業のない学校もたくさん存在します。卓球は中国の国技なのに、いまの若者には全く出来ない人もたくさんいます。中国の高校生は選考試験のため、朝6時から夜10時まで、ずっと学校で勉強します。かわいそうですけど、仕方がないです。これが中国教育の悲しい現状です。

このように、日本の教育の中に、私たち中国人としても勉強になることがたくさんあります。でも、日本教育も少子化が進んでいて、いじめなどの問題もあるので、決して全て正しいわけでもないとは思っています。そこで、私たち留学生がいることによって、両国の交流が盛んになり、一番大切な、お互いの教育の問題について学び合う機会が増えています。私も、教育の実態を学び、自分のため、人のため、地域のため、世界のために役立つ人になりたいと考えております。

以上で私の発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

子供の頃、学校に行きたくなくて「お腹が痛い」と言ってずる休みをしたことがあります。母はすぐにそれが「嘘」だと分かったようですが、その時は何も言いませんでした。私は、黙っているのが辛くて、後になって母に「ごめんなさい」と本当のことを言いました。それ以来、私は決して「嘘」をついてはいけないと思っていました。

ところが、ついこの間、日本語の読解問題の中にあったテキストを読んで、私の考えは変わりました。テキストは、「嘘」の電話のお話でした。Kさんという人が病院に入院していました。容体が悪くなるたびに看護師さんたちが「息子さんから電話がありましたよ」と言うと、不思議に元気を取り戻したそうです。

長距離トラックの運転手だった息子さんは、なかなか病院に見舞いにこられませんでした。Kさんが入院した当初は、本当によく電話をかけて父親のことを心配していました。ところがある日、その息子さんが、交通事故で亡くなってしまったのです。看護師さんたちは本当のことをKさんに言うことができませんでした。その日から「幻の電話」が始まりました。Kさんが危険な状態になるたびに、看護師さんたちはいつも「息子さんから電話がありましたよ」と「嘘」をついたのです。

Kさんは結局亡くなりますが、最後が近づいたころ、看護師さんたちに向かって、何度も「ありがとう」と言っていたそうです。

医者には、時には患者の病状について本当のことを告げません。患者を元気付け、生きる希望を持ってもらうためです。それで、患者が元気になったら、医者「嘘」は感謝される嘘です。でも結果が反対だったら、非難されることもあるでしょう。「嘘」をつかれたくない、だまされたくないという気持ちと、嘘でもいいから励まして欲しいという、人間は誰も矛盾した気持ちを持っているかもしれません。

看護師たちは、Kさんに何度も嘘をつきました。その「嘘」は、ついてはいけなかった嘘でしょうか。物語を何回も何回も読み返している内に、私は考え込んでしまいました。この話を読む前には、私はどんな嘘でも弁明の余地がないと思っていました。何かを、誰かを守るための嘘があるかもしれないとは、考えたことがありませんでした。

私は、悪意を持って人を騙す「嘘」だけではなく、「気高い嘘」というものがあると思います。本当のことではないと後で分かった時、「だまされた」と恨みには思わず、「ありがとう、おかげさまで救われた」と感じる「嘘」があるのではないのでしょうか。「嘘」は悪いことと教えられた人間でも、あの看護師さんたちの「幻の電話」には、文字通りの嘘だけではない何かを感じ取れるはずです。

本当ではないことを「嘘」と言いますが、相手のことを思いやる気持ちでついた「嘘」であれば、そこには「嘘」と一言では言いきれない、大事な心があるような気がしてなりません。

私にとってお金では買えない、世界一の宝物、それは家族です。
家族とは大好きなお父さんとお母さんがいるところです。

お父さんは厳しくてあなたが間違いをした時すぐ叱る人ですが、自転車に乗れるまで熱心に教えてくれる人です。お母さんはやさしくてあなたの食事、睡眠を心配する人ですが、時々理解できないことがあります。前に、「お母さん、カレーが大好き！」と言ったら、一か月間毎日カレーが出ました。「どうして毎日カレーを作るの？」と聞いたら、だって「カレーが好きと言ったじゃない？」と言われました。成長した今なら理解できます。お母さんって子供が喜ぶことをしたいです。どれくらいが十分か分からないくらい子供を愛しています。

私達は仕事や勉強などのため家族と一緒にいる時間が少なくなっていますが、家は寂しい時や疲れた時に戻りたいところです。「一番幸せなことは何か？」と聞かれたら「家族と一緒にごはんを食べること」と答えたいと思います。ベトナム人にとって特別な食事ではなくても家族の全員が集まることは大切なことです。私の家族も、食事をしながら、何でも話します。父の壊れたバイク、母の新しい髪形、私のハイキングや最近のニュースなどです。その時、一日の心配やストレスから解放されるようです。

時には疲れて帰って、両親に無礼な態度を取って、後で後悔もします。それでも両親はいつもそばにいます。それは家族の愛です。家族の愛はどの国でも変わりません。今回、私ははじめて長い時間家族と離れました。でも、家族からの応援をいつも感じています。

そして、ここでは、いつも日本人の友達のことを感じています。知り合ったばかりの私に、「アンちゃん、大丈夫ですか？」、「何か問題があったら連絡してね！」とよく心配してくれて、感動しました。

さらに、バイト先でも店長やお客さんから愛を感じています。店長は優しくユーモアがあるおじいさんです。ある日「アンちゃん、時間が立つのは早いから一年間、一所懸命勉強やいろんな体験をしてくださいね。努力しなかったら一年間は意味がないですよ。」と言われた時、暖かい何かが目からあふれ出るようでした。私は思った以上に日本でみんなに愛されていると感じました。

また、ベトナムの家族の他に大学の寮母さんも今は家族です。寮母さんが毎日言ってくる「いってらっしゃい！」「お帰り！」を聞くと、不思議な薬を飲んだように元気が出ます。

あなたの家族は、いつもあなたに会いたい、声を聞きたいと思っています。スマホに夢中になる代わりに、家族に電話をして愛を伝えてください。いくら忙しくても、たまには、家族と一緒にごはんを食べてください。そこは、自分が生まれたところだけでなく愛情が決して終わらないところだからです。どうか、家族を大切にしてください。

最後に、私はいつも家族のように暖かい愛情をそそいでくれる日本に、心から「ありがとう」と言いたいです。

皆さん、こんにちは。私はパン ジュンホウと申します。マレーシアから来ました。今日は日本に来て驚いたことを2つ話したいと思います。よろしくお願いいたします。

一つ目は日本のウォシュレットトイレです。日本に来る前にそんな便器があるのは知っていましたが、使ったことはありませんでした。初めて見た時にボタンがたくさん有りましたが、何が書いてあるのかわかりませんでした。ただのON・OFFだったらわかったかもしれませんが、しかし、よく見れば、ボタンにイラストはありました。イラストを見ると、どこを洗うかイメージができました。でも、端っこには音符が描いてあるボタンもありました。なにこれ。混乱してしまいました。水がどこから出るのかもわからないし、そのときはもうあきらめました。寮にあるウォシュレットトイレも使うことをあきらめました。

ある日、会社のトイレを使っていて、トイレットペーパーがなくなったことに気づきました。通常はどこかに予備のトイレットペーパーが置いてあるはずですが、そのときは有りませんでした。どうすればいいだろうなあ。こうなったらウォシュレットトイレを使ってみるしかないだろうと思いました。その時初めて使ってみました。それまでにウォシュレットトイレを使ったことがある友達から変な感じがすると聞いたことがありましたが、私は気持ちよくなったと感じました。そこでほかのいろいろな機能も試してみました。なるほどね、こうできるんだ、そうできるんだ、知らなかったと感動しました。ウォシュレットトイレはとても便利だと気付きました。おしり、ビデ、ノズルの位置や水の強さの調整、ドライヤー、シートヒーター、消臭、音楽などなど。そのときからずっと日本ではウォシュレットトイレを使っています。日本人の同僚と海外出張に行った時、日本のウォシュレットトイレがないから、不安じゃないですかと聞きましたが、彼は大丈夫だと言いました。なぜなら彼はポータブルの日本のウォシュレットトイレを持っていたのです。すごい。

しかし、一つ使ったことのないボタンがあります。それは音楽や音が出る機能です。使う意味がわからないのでそれは私はいらないと思います。使うのが恥ずかしいです。

2つ目は温泉ですね。裸になるのは最初は抵抗がありましたが、今はぜんぜん気になりません。毎回国内旅行をするときには私はやっぱり温泉は欠かせません。風景がきれいな露天風呂にはまりました。この間は青森県で混浴にも入ってきました。旅行が好きなみなさんはご存知かもしれませんが、千人風呂といわれている結構有名な温泉です。

最後に、日本に来て驚いたことは他にもたくさんあるのですが、なかなか話きれません。日本は本当に面白くてユニークな国だと思います。ご清聴ありがとうございました。

こんにちは！ 私は中国からの留学生です。

最初に日本文化に触れたのは子供の頃でした。幼稚園から家に帰り、テレビで放送されていたセーラームーン、ドラゴンボールなどの日本アニメを毎日必ず見ていました。アニメを見て成長した私は日本文化に対して興味をどんどん持つようになりました。いつか日本へ行って、自分の目でアニメやドラマの中の日本を確かめたいと思うようになりました。小さい頃から日本に好奇心を持っていたため、日本に関することなら何でも関心を持ちました。そして中学時代から、日本へ留学しようと決め、どうやって日本に行けるのかを調べました。

色々な資料を調べた中で、日本という国は美しい自然風景だけではなく、多種多様な風習や沢山のグルメがあることや、厳しいマナーを守り、前向きに生きるという生活態度をもっていることが分かりました。さらに、日本は自然資源には乏しいけれど、先進的な技術があり、品質を重視するというのも分かってきました。更に、日本は他の国の政治や文化を勉強しているけれど、ずっと自分達の特色は失っていないということも知りました。

大学を卒業してからもずっと日本語の勉強を続けていました。アニメからスタートした憧れの日本で、コンピューターの勉強を更に深めるため、一生懸命留学の準備をしました。そしてついに、日本への留学が叶いました。

日本での留学生活では、大学に通いながらアルバイトをする中で新しい発見がありました。中国にはアルバイトをする習慣がありません。周りの学生達はみな生活費、授業料などは勿論のこと、自分の欲しいものや旅行のための費用などを得るために、一生懸命アルバイトをしていることに感心しました。

日本に来たばかりの頃、私は日本語が下手で、なかなかアルバイトが見つかりませんでした。半年後、ある先輩の紹介により結婚式場でアルバイトを始めました。仕事の内容は簡単で、コックさんたちが作った料理をお皿に盛り付けることでした。各種の料理のレイアウトなどは厳しく要求されていますが、一緒にアルバイトをしている先輩や料理長さんなど皆さんとても優しく、どのようにするべきなのかを熱心に教えてくれます。また、休憩時には、お茶やケーキも出してくれます。このような職場の皆さんに心から感謝しています。アルバイトは忙しくて疲れますが、とても充実していますし、私にとって、とても貴重な体験だと思っています。

日本に来てから二年ぐらい経ち、日本の環境と生活ペースになれたような気がします。はじめは苦しいことも色々ありましたが、それと比べて幸せなことの方が一杯あります。この留学を何度振り返って見ても、人生の宝物だと思っています。大学院を卒業したら、頑張って東京で仕事をし、日本のいろいろなところを旅行しながら日本で生活したいと思っています。

ご清聴ありがとうございました。